



第33週の発生動向 (2004/8/9~2004/8/15)

- 1 咽頭結膜熱については、先週に引き続き弘前、五所川原、上十三保健所管内で**警報**が出されています。
- 2 ヘルパンギーナについては、先週に引き続きむつ保健所管内で**警報**が出されています。県内の患者数は先週141人から今週133人へとやや減少したものの患者数が多い状態が続いていることから、今後においても注意が必要です。

第33週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ															±0
(60) 咽頭結膜熱	6	0.75	12	1.20			1	0.20	1	0.17			20	0.48	-9
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			3	0.30	1	0.11			1	0.17	1	0.25	6	0.14	-7
(62) 感染性胃腸炎	13	1.63	8	0.80	2	0.22			12	2.00	7	1.75	42	1.00	-8
(63) 水痘	10	1.25	5	0.50	6	0.67	3	0.60	7	1.17	2	0.50	33	0.79	8
(64) 手足口病					1	0.11			10	1.67	1	0.25	12	0.29	6
(65) 伝染性紅斑	1	0.13							2	0.33			3	0.07	1
(66) 突発性発疹	6	0.75	8	0.80	3	0.33			7	1.17	3	0.75	27	0.64	-4
(67) 百日咳															-1
(68) 風疹											1	0.25	1	0.02	1
(69) ヘルパンギーナ	31	3.88	45	4.50	4	0.44	5	1.00	1	0.17	47	11.75	133	3.17	-8
(70) 麻疹(成人を除く)															-1
(71) 流行性耳下腺炎	4	0.50	2	0.20	16	1.78	2	0.40	3	0.50			27	0.64	-8
(73) 急性出血性結膜炎															±0
(74) 流行性角結膜炎	1	0.50			4	2.00			3	1.50			8	0.73	4

	定点数			
	インフル エンザ	小児科	眼科	基幹
青森	13	8	2	1
弘前	15	10	3	1
八戸	14	9	2	1
五所川原	7	5	1	1
上十三	9	6	2	1
むつ	6	4	1	1
合計	64	42	11	6

インフルエンザ定点については、内科定点と小児科定点を合わせたものです。

注意報はオレンジ色、警報はピンク色。「空欄」: 患者発生数0

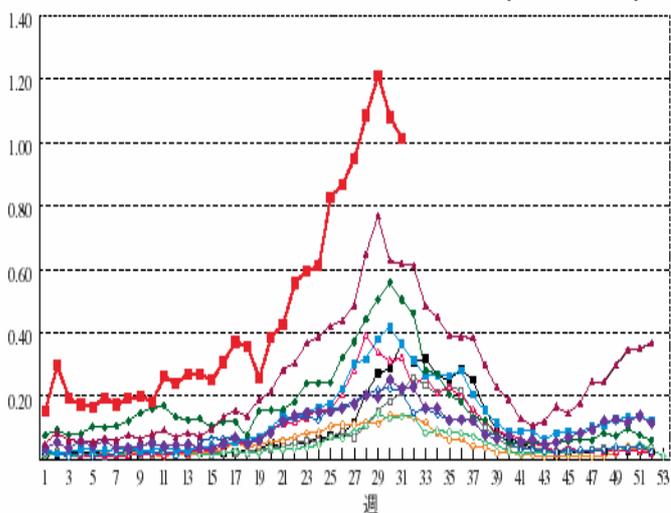
表 以外の感染症法対象疾患 (16年計には、今回届出された人数を含む)

- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患) 上十三保健所管内 1人 (16年計 12人)
- (20) オウム病(四類全数把握疾患) 上十三保健所管内 1人 (16年計 2人)
- (46) ウイルス性肝炎(五類全数把握疾患) 弘前保健所管内 1人 (16年計 3人)

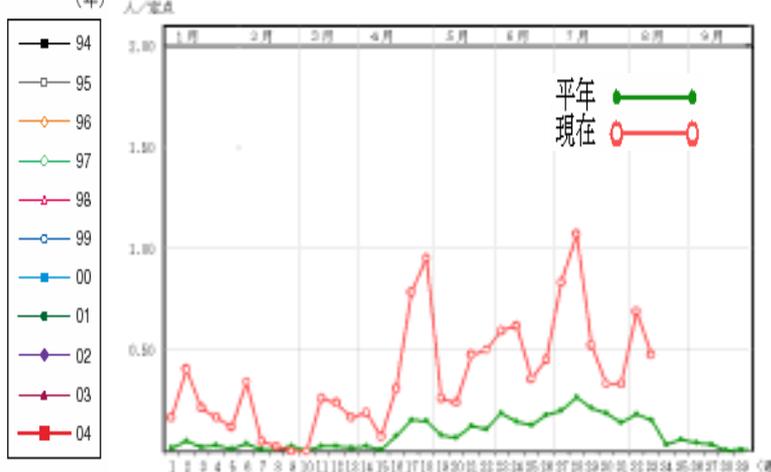
感染症の姿

咽頭結膜熱

人/定点 全国における定点あたり患者報告数(31週まで)



(年) 人/定点 青森県における定点あたり患者報告数



平年とは過去10年間の週別平均値を表しています。

- ・ 今年の全国における定点あたり患者報告数は、これまで過去10年間の数値に比べ高い値で推移しています。29週にはこれまでで最も高い値(1.21)を示しましたが、29週以降は減少傾向にあります。本県においても減少傾向はあるものの、現在も平年に比べ高い値で推移しており、警報も出されていることから注意が必要です。